中学３年　国語科　教材別テスト⑫「わたしを束ねないで」

教材別リメイク版　中学３年　国語

３年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。解答は解答用紙①②（Ｐ．６～Ｐ．９）に書きなさい。
- 大問四は、**教科書『国語３』（光村図書）の「わたしを束ねないで」を開いて**解答しなさい。
- この問題用紙には、著作権のはたらいている**詩の本文は載せていません**。本文は「第一連」「第五連」などの連の番号で示します。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、①～⑩は漢字の読みをひらがなに直し、⑪～⑳はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、**送りがなが必要な場合は、必ず送りがなまで書くこと**（①⑧⑨⑩⑬⑭⑰⑱）。　１点×20＝20点

① 切った花を束ねる。
② 標本箱にならべる。
③ 昆虫を採集する。
④ 肩書きにこだわる。
⑤ 行動を拘束する。
⑥ 既成の考え方。
⑦ 人質が解放される。
⑧ 言葉を紡ぐ。
⑨ 澄んだ空気を吸う。
⑩ 平和を訴える。
⑪ いなほが金色に実る。
⑫ 人をわくにはめる。
⑬ 強くねがう。
⑭ 助けをもとめる。
⑮ かばんになふだをつける。
⑯ 土地をくかくで分ける。
⑰ うわさがひろがる。
⑱ 遠くの友によびかける。
⑲ とうち法を用いる。
⑳ 同じ言葉をはんぷくする。

二　語句の知識について、次の問いに答えなさい。　2点×7＝14点

(1)　「具体」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(2)　「拘束」と最も意味が近い語（**類義語**）を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　独立　　イ　束縛　　ウ　放任　　エ　成長

(3)　「型にはまる」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　決まりきったやり方のとおりで、新しさや自分らしさがないこと。

イ　体の大きさがちょうど合うこと。

ウ　自分の得意なことで力を発揮すること。

エ　まわりの期待を上回る成果を出すこと。

(4)　「レッテルを貼る」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　荷物に宛先を書いて送ること。　　イ　人や物を一方的に決めつけて評価すること。

ウ　目立つように飾りをつけること。　　エ　仲間として正式に認めること。

(5)　次の**四字熟語**の□に入る漢字一字を書きなさい。　「多種多□」

(6)　「十人十色」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　十人集まれば必ず意見がまとまるということ。

イ　考え方や好みは人それぞれにちがうということ。

ウ　大勢で力を合わせれば大きな仕事ができるということ。

エ　人の数だけ役割が決まっているということ。

(7)　「画一的」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　絵のように美しいこと。　　イ　一つ一つのちがいを生かすこと。

ウ　どれも同じようにそろえて、ちがいを認めないこと。　　エ　計画を立てて進めること。

三　詩の**表現の工夫とその効果**について、次の問いに答えなさい。例文Ａ～Ｅは、学習のためにこの問題用紙で作った文です（教科書の詩の本文ではありません）。　16点

A　ぼくを急かさないで／ぼくを急かさないで／ぼくはまだ歩き出したばかりだ

B　走り出した、真夜中の列車は。

C　校庭のすみに咲く、小さな白い花。

D　①　ぼくは鳥のように軽やかだ。　②　ぼくは一枚の白い紙だ。

E　えんぴつ、消しゴム、定規、ノート、筆箱。

(1)　例文**A**では、同じ一行がくり返されている。このようなくり返しが、読む人に与える効果を**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［4点］

(2)　例文**A**は、「～ないで」という**否定の形**で書かれている。この書き方によって生まれる調子として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　事実をありのままに伝える、落ち着いた調子。

イ　目の前の相手に直接うったえかける、切実な調子。

ウ　過去をなつかしむ、しみじみとした調子。

エ　読む人を笑わせる、軽やかな調子。

(3)　例文**B**は、ふつうの語順に直すと「真夜中の列車は走り出した。」となる。あえてこの語順にしたことで生まれる効果を**二十字以上三十字以内**で書きなさい。［3点］

(4)　例文**C**のように、行の終わりを名詞（体言）で止めると、どのような効果があるか。**二十字以上三十字以内**で書きなさい。［2点］

(5)　例文**E**のように、短い言葉を次々に並べていくと、どのような効果があるか。**二十字以上三十字以内**で書きなさい。［2点］

(6)　例文**D**の②は、①とちがって「～のように」という言葉を使わずに言いかえている。②のような言い方の効果として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［2点］

ア　たとえであることをはっきり示し、だれにでもわかりやすく伝える。

イ　たとえを示す言葉を省くことで、二つのものが重なり合い、強く印象に残る。

ウ　事実をそのまま正確に記録する。

エ　文を短くして読みやすくするだけの働きしかない。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語３』（光村図書）の「わたしを束ねないで」（新川和江）を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）この詩の形式としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［３点］

ア　文語定型詩　　イ　口語定型詩　　ウ　文語自由詩　　エ　口語自由詩

（２）題名と、各連の初めの一行は、どれも「わたしを～ないで」という**同じ形**になっている。この構成についての説明として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［４点］

ア　連ごとにまったく別の話題が並べられ、たがいに関係がないことを示している。

イ　連ごとにこばむ対象を変えながら同じ形で語りかけ、五つの連を一つの願いとして結びつけている。

ウ　連を追うごとに語りかけの形がくずれ、語り方がやわらいでいく。

エ　同じ形をくり返すことで、言いたいことが決まらないとまどいを表している。

（３）この詩の**各連の組み立て**についての説明として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［４点］

ア　前半で自然の風景をえがき、後半でそれを人間の一生にたとえている。

イ　前半で〈わたしに向けられる働きかけ〉をこばみ、後半で〈本来のわたし〉のありようを示している。

ウ　前半で他人をほめ、後半で自分の足りなさをなげいている。

エ　前半で過去をふり返り、後半で未来を言い当てようとしている。

（４）この詩で「わたし」が語りかけている相手は、どのような存在だと考えられるか。最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［３点］

ア　遠い土地に住んでいて、もう会えない友人。

イ　「わたし」のことを、決まった見方でとらえようとする周囲の人々や世の中。

ウ　これから生まれてくる、未来の子どもたち。

エ　詩を書くことをやめようとしている、過去の自分。

（５）各連で「わたし」が自分を言い表しているものには、どのような共通する性質があるか。「**～もの。**」の形で、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［５点］

四　（つづき）

（6）第四連では、「娘」「妻」「母」といった**名前**を挙げて、「わたし」がうったえている。このうったえの意味として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　家族をもつことそのものを、わずらわしく思う気持ち。

イ　いくつもの面をもつ自分が、一つの呼び名だけでくくられてしまうことをこばむ気持ち。

ウ　自分の名前をなかなか覚えてもらえないことへの不満。

エ　もっと立派な呼び名をつけてほしいという希望。

（7）第五連では、「わたし」が自分を、あるものに重ねて言い表している。「わたし」がこう言うのは、自分の生き方をどのようなものととらえているからか。「**〜ととらえているから。**」の形で、**三十字以上四十五字以内**で書きなさい。［5点］

（8）題名の「束ねる」は、この詩ではどのような意味で使われているか。最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　花や枝などを一本にまとめて、ひもで結ぶこと。

イ　一人一人を区別せず、ひとまとまりのものとして扱うこと。

ウ　人々を集めて、集団の先頭に立つこと。

エ　古くなった物を整理して、片づけること。

（9）この詩では、行の中に**空白（一字空け）**が置かれているところがある。こうした行分けや空白の効果として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　印刷したときの見た目を整えるためのもので、読み方には関係しない。

イ　読む速さや息づかいを変え、言葉と言葉の間で立ち止まらせて、余白に思いをふくらませる。

ウ　決まった音数のリズムを守るために、どうしても必要になるもの。

エ　文字の数を減らし、読む時間を短くするためのもの。

（10）この詩の**主題**（作者が最も強く伝えようとしていること）を、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［5点］

（11）この詩を音読するとき、どのような工夫をするとよいか。**工夫とその理由**を合わせて、**四十字以上六十字以内**で書きなさい。［4点］

（12）あなたが「束ねられたくない」「決めつけられたくない」と感じる場面を**一つ**挙げ、この詩の「わたし」の思いと重ねながら、**六十字以上八十字以内**で書きなさい。［6点］

解答用紙①　知識・技能

中学３年　国語科　教材別テスト⑫「わたしを束ねないで」

３年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき）　知識・技能

中学３年　国語科　教材別テスト⑫「わたしを束ねないで」

３年	組	番	氏名	

二　語句の知識（２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　表現の工夫とその効果（16点）	(1) ４点	
	(2) ３点	
	(3) ３点	
	(4) ２点	
	(5) ２点	
	(6) ２点	

※　三の記述は、(1)が25～40字、(3)(4)(5)が20～30字です。句読点も一字と数えます。

解答用紙②　思考・判断・表現

中学３年　国語科　教材別テスト⑫「わたしを束ねないで」

3年　　組　　番　　氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「わたしを束ねないで」（50点）	(1) 3点		(2) 4点	
	(3) 4点		(4) 3点	
	(5) 5点 25～40字			
	(6) 4点			
	(7) 5点 30～45字			
	(8) 4点			
	(9) 3点			
	(10) 5点 25～40字			

解答用紙②（つづき）　思考・判断・表現

中学３年　国語科　教材別テスト⑫「わたしを束ねないで」

３年	組	番	氏名

(11)　4点（40～60字）	
(12)　6点（60～80字）	

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（５）は「～もの。」、（７）は「～ととらえているから。」の形で結ぶこと。字数の範囲から外れると減点になります。